

令和5年度「中学生による三朝町の未来を語る会」検討状況、対応方針等

A 空（あき）校舎活用	
解決策	検討状況、対応方針等
<p>1 班テーマ：三朝にホットな場所を</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 空校舎があることを企業にアピール ② 旧南小学校をキャンプ場兼道の駅へ <ul style="list-style-type: none"> ・校舎をきれいにする ・校庭を人工芝へ ・調理場は、一階の教室を使う。 ・校舎の中でも外でも泊まれるようにリフォームする。 ・森が近いので自然と触れ合えるように森を整備する。 	<p>それぞれ、考えていただきありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。</p> <p>但し、「校舎」について申し上げますと、それぞれ50年を超える年月が経過しており、施設としてそのまま使うためには、今後、多額の経費が必要となります。従って、費用対効果について真剣に考える必要があります。</p> <p>活用することによって生まれる効果とそのために要する経費(コスト)をしっかりと見極めることも大切です。</p> <p>その点では、民間企業からの事業提案がいただけるかどうか。まずはそれに向けてアピールしていくことから始めなければなりません。</p>
<p>2 班テーマ：マルチスポット～in Misasa～</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 空校舎をいろいろな用途で使えるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設にする（船上山的な） ・カフェ ・勉強スペース ・ジム ・kids space ・教室を使って町内の文化を体験できる場所にする (他にもこんな意見がありました) ・校庭を利用して公園にする ・建物を壊して大きな公園にする ・体育館スーパー ・インスタ映えスポット設置 ・イベントを開催する 	

B 高齢者にやさしい町づくり

解決策	検討状況、対応方針等
<p>テーマ：住み慣れた三朝で元気に過ごすために</p> <ul style="list-style-type: none">・1か月に一回公民館などを使い食事会などをする・介護施設利用者との地域交流利用者との地域交流・とくし丸などの移動スーパーのような車での宅配サービスを増やす（足腰が悪い人に優しい）・バス、タクシーなどの交通機関の普及発展・いきいきサロンの普及・異世代交流（賀茂保育園やみささこども園などの年の差交流）	<p>町では、生活支援として、介護予防と買い物を組み合わせた「ショッピングデイサービス」を集落で開催したり、タクシーや路線バスの助成による自由に外出できる環境づくりを実施したりしています。</p> <p>また、生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げることを目的とした、集落や社会福祉協議会でのサロン事業などの「通いの場」を開催しています。</p> <p>これから、町の高齢化率の上昇とともに、高齢者のみの世帯や認知症高齢者が増えることが想定されますが、「住み慣れた三朝で元気に過ごしたい」という高齢者の皆さんの願いに寄り添い、生活課題への支援策の実施といきいきサロンなどの交流の場を増やし、多くの方が参加していただけるよう、地域交流や異世代交流等を含め、内容の充実を図っていききたいと思います。</p>

C 国際交流の推進（フランス・台湾）

解決策	検討状況、対応方針等
<p>1 班テーマ：国際交流を活発化させるために</p> <ul style="list-style-type: none">・フランスの食べ物など、自分の興味があるものについてみんなで調べる・国際の授業を作る・実際に行けない人はネットや SNS を通して交流する（仲良くなる）・VR で三朝を紹介・体験してもらおう（三徳山の登山や温泉街のところ）・三朝で、姉妹都市や姉妹校を宣伝する（フランス、台湾のものを）・給食で、フランスや台湾の料理をもっと出す・ホームページや SNS でもっと大々的に宣伝する	<p>国際交流の様子を多くの方々に知っていただくために行っている情報発信は、学校でも生徒が行った交流の様子や成果についてHPに掲載をお願いしています。また、行政でもホームページ上でキュリー祭をはじめとする国際交流関連の式典やイベントの様子など掲載しています。今後、SNS などの効果的な広報媒体を活用し、情報発信を充実させるように努めます。</p> <p>フランスや台湾の風土や文化について授業を行うこと、また、給食でその国の料理を食し、食文化に触れる機会を増やすことは、大変有意義なことです。台湾の交流員を増やすことは難しいですが、給食で交流都市の代表的な食事を提供する日を増やすことやオンライン交流の機会を増やすなど、次年度、実現可能な取り組みを検討します。</p>
<p>2 班テーマ：誰もが交流できる機会を増やすには</p> <ul style="list-style-type: none">・台湾の交流員さんを増やす・授業内の学活で交流する時間を設ける・オンライン交流を増やす・配布物（町報）を活用して、幅広い世代の人に活動を知ってもらう・多くの家庭に訪問団の人を受け入れてもらう・給食を通してお互いの食文化について学ぶ機会をもっと増やす・三朝の魅力を発信する・台湾やフランスの言語をホームページに追加する <p>私たちの夢</p> <ul style="list-style-type: none">・三朝町にたくさんの外国人に移住してもらう・気軽に交流できる機会が欲しい・国際交流活動を外国の人や町民に伝える機会が欲しい	<p>家庭でできるフランス料理のレシピ紹介や親子料理教室の開催、さらにはホストファミリーを増やすことなど町民の方にも交流している国の人や文化に触れる機会を増やすように工夫します。</p>

D 子どもにやさしい、子どもが喜ぶ町づくり

解決策	検討状況、対応方針等
<p>1 班テーマ: 子供から大人までが安全に安心して楽しく遊べる場</p> <p>子どもから大人までが安全に安心して遊べる場を開設</p> <p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none">・三朝にしかない(特色を生かした)遊具を作る・印象に残るインパクトのある見た目・Wi-Fi環境が整い、飲食のできるスペースと隣接・雨の時でも遊べるスペース・夜はイルミネーション(観光スポット) <p>小さな施設を作るのではなく1つ大きなものを開設する</p> <p>～情報発信について～</p> <ul style="list-style-type: none">・幅広い年代に効果的な情報発信に取り組む (例 Instagram等・広告・CM・看板)	<p>現在、本町が進めている「こども公園構想」の情報から、想像を膨らませ考えていただきました。</p> <p>今の中学生年代が考える、求める「遊べる場所」の理想像について、たくさんのアイデアをいただきました。</p> <p>今後、公園構想を進めていく中での参考とさせていただきます。</p>
<p>2 班テーマ: 春夏秋冬楽しめる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・たくさん遊具を置く(アスレチックみたいな)・いろいろなスポーツができる場所を作る・自動販売機やコンビニなどを公園の近くや、離れたところに建設する・きれいな遊具と草刈りの環境の整備をしっかりとる・子ども大人関係なく、本気で楽しめるような施設を建設する・外だけ屋根をつける・雪が降ったり雨が急に降ってきたりしてもいいように体育館施設を作る・ラドンにちなんだ遊具をつくる・季節ごとにちなんだイベントや飾り付け ↓↓・ハロウィンにはお菓子を配る・クリスマスになったらイルミネーションなど <p>これが実現したら</p> <ul style="list-style-type: none">・春夏秋冬イベントの飾り付けを地域の人で作って長く町民に愛される公園にする。	

E 三徳山の魅力発信（日本遺産）

解決策

テーマ：命懸けのアスレチック

- 外国人向けの三徳山の魅力や歴史を知ってもらえるようなポスターやガイドなどを作成し都市圏でPRを行う
- 外国人向けに外国語が話せる現地ガイドを雇う。
- 外国人が宿泊できる宿を作る
→魅力発信に向けての多言語化を図る
- PR動画（歴史も知れるやつ）を作ってインターネットに発信
- 三徳山の歴史をアニメ化して英語などの字幕をつけている
色々な国の人が見れるようにし（SNS）に投稿する
- 世界的に有名な「名探偵コナン」の中で三徳山をモデルにしたアニメを青山剛昌さんに作ってもらう
（三徳山から落ちる系の事件）
- ゲゲゲの鬼太郎も三徳山をモデルとしたアニメを作ってもらう
（三徳山から妖怪がでてくる系）
→若者をターゲットにした情報発信のコンテンツを作成

検討状況、対応方針等

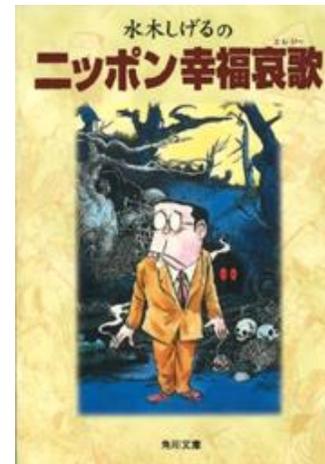
三徳山の魅力発信について、様々な御提案をいただきました。大きなポイントとして、「誰に」「何を」「どのように」発信していくのかを検討する必要があります。

PR手法については、ターゲット毎にコンテンツを見直し、興味関心を引く内容を分かりやすく、かつインパクトの強いフレーズなどをFacebook、X（旧Twitter）、InstagramなどのSNSを活用して情報発信に努めます。

多言語化については、インバウンドが激増する社会情勢を踏まえ、早急に対策を講じる必要があると考えます。

外国語通訳が出来る現地ガイドの雇用も、三徳山の歴史や文化を十分に伝えるためには、欠かすことの出来ない存在であると言えます。

水木しげるさんの漫画の中に三徳山投入堂と思われる建築物が登場していますので、情報発信のツールの一つとして活用することを検討します。



105 雨 女

F 三朝温泉の魅力発信（日本遺産）

解決策	検討状況、対応方針等
<p>1 班テーマ：三朝の観光客 40 万人を目指す</p> <p>① 三徳山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一危ない国宝鑑賞」というワードを売りにする <p>② SNS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝町をインスタや SNS など知名度を上げる ・インフルエンサーなどの影響力がある人と呼ぶ ・AKB48 の中野郁海さんに来てもらう（鳥取出身だから） ・ファンが多そうなアイドルに来てもらう（髭だんなど） ・X で有名な人と協力する <p>③ お土産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝温泉をより再現できる入浴剤を売る ・バイオリンの木で作った靴べら、バイオリン型のキーホルダー（高齢者の方向けのお土産） ・全て三朝の素材で作った品物作成 <p>④ with 倉吉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉のお店などと協力して三朝町をお勧めしてもらう。（昼は倉吉で遊んで、夜は三朝の旅館に泊まってもらう）→周りの街も潤う 例)・ソイプロテイン→ジムで売ってもらう <p>⑤ 交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝ツアーバスをつくる ・タクシーを増やす（鳥取全体） <p>⑥ コナン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画やドラマの撮影地にする。（コナン！） ・コナンと三朝を混ぜた映画を作る <p>⑦ 特産品を使って</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三朝の給食を食べることができる場所を温泉街に作る（米粉チュロス、竹田おこわなど） 	<p>「日本一危ない国宝鑑賞」のフレーズは、インパクトがあるので、今後も最大限メディア等への露出を心がけます。</p> <p>SNS を活用した情報発信は、効果的な手法です。フォロワー数（閲覧数）の多いインフルエンサーに取り上げていただけるよう、観光団体と連携を図っていきます。</p> <p>バイオリン関連の商品の提案等、町の素材で作成した商品は、観光客に魅力的だと考えます。オンリーワンの商品造成について、バイオリン美術館にも提案してみます。</p> <p>三朝温泉へ複数日滞在すること（連泊）は、温泉の効能を実感するメリットだけでなく、地元にとっては経済効果も高いものです。提案は周辺地域の潤いにもつながるため、観光団体と検討します。</p> <p>タクシーを増やすことは交通手段の確保のためにも必要です。しかしながら現状は運転手が不足しているため、確保が課題です。</p> <p>撮影地になることで、メディアへの露出が増えるので、積極的な誘致を図ります。</p> <p>この地でしか、食べられない特産品は、魅力的です。観光団体に提案してみます。</p>

F 三朝温泉の魅力発信（日本遺産）

解決策	検討状況、対応方針等
<p>2班テーマ：旅行者にたくさんお金を使ってもらおう</p> <ul style="list-style-type: none">インターネットで三朝温泉に関する情報を広める （Web サイトとホームページの多言語化）旅行したい人に三朝の魅力を伝える 例：世界一のラジウム温泉→美肌、ストレス解消、治療、三徳山に登った後のケア熱気浴（サウナみたいな温泉）すーは一温泉 などお土産の充実化 （入浴剤、ヨーグルト、アイマスク、ラドンのキーホルダーなど）食べ物、お土産の値上げパッケージに高級感を出して見栄え良くする三朝町のあえて高級な旅行プランを提案 （お金持ちに来てもらう）有名人に来てもらう、PR してもらう （三朝温泉観光大使の人にPR してもらう）	<p>インターネットを活用した情報発信は、効果的な方法なので、町、観光協会、各旅館等で行っています。外国人観光客への対応として、多言語での情報発信をさらに強化するよう関係者と調整します。</p> <p>インターネットやマスコミを活用し、観光・健康様々な分野で魅力の発信を継続して行います。</p> <p>入浴剤やヨーグルト等のお土産の他に、中学生の皆さんの目線で、「こんなお土産があれば・・・」というものを提案していただけると、非常に参考になります。</p> <p>その商品に見合った価格が設定されていると思うので、値上げのためには、商品の魅力を高める取組が必要と考えます。旅館などでは、部屋にお風呂を設けるなど魅力の向上に努力されています。</p> <p>お金持ちに来てもらうためには、受け入れる旅館の魅力を高めるほか、その人たちに向けての情報発信を行いアピールすることが必要です。情報発信の強化にも取り組んでいきます。</p> <p>ふるさと納税では、旅館利用券を返礼品のメニューに加えています。</p> <p>有名人（三朝温泉観光大使等）に来てもらい、インスタグラム等で発信することは、非常に効果的です。有名人の方に来ていただけるよう誘致に努力します。</p>

G 三朝町移住者促進

解決策	検討状況、対応方針等
<p>1 班テーマ：シン・移住者&定住者促進計画</p> <ul style="list-style-type: none">・サントマト→拡大 (さまざまなジャンルの商品×販売範囲拡大) →食品だけの販売だけではなく、おもちゃや、ファッション系等も売って、パープルタウンを超える。・それなりに雪が降ることを生かして、雪のイベント的なことをやる・日本で有名な人に三朝町に来てもらい、PR する 自分たちが有名人になり、三朝をPR する・三朝サンサンバスの本数と、利用区域を増やす・給食を食べられるレストランをつくる 三朝給食センターでつくった給食 空校舎を利用する 三朝町民割引あり (定住案&PR)	<p>町内商店での商品数量や新規販売品目の提案、雪を活用した集客イベントの提案など関係する方々にこの内容を伝え検討いただきます。</p> <p>町で給食レストランを営業することは難しいですが、学校給食メニューのレストランを開業する方があれば、給食レシピをシェフに提供することは可能なので、レストランを開業される方があれば支援します。</p> <p>有名人（三朝温泉観光大使等）に来てもらい、インスタグラム等で発信することは、非常に効果的です。有名人の方に来ていただけるよう誘致に努力します。</p> <p>口コミでの情報発信は効果的な情報発信の方法です。ぜひ、三朝温泉の魅力の発信にご協力ください。</p>

G 三朝町移住者促進

解決策	検討状況、対応方針等
<p>2班テーマ：移住定住者促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事場を増やす。 (利点)：町に賑わい。 → 例：書店、飲食店 ・ 今あるものを生かしたイベントの開催 (利点)：自然と関わることができる。温泉プールだと、子供でも楽しく温泉に入ることができる。 自然→例：雪遊び（山の斜面を使ってソリなど）、山菜散策 温泉→例：温泉プール、温泉たまご ・ 住民の活動できるような場所。 →例：大きな公園、運動できる広場 ・ ポスターの掲示（三朝のことを知らせる） (利点)：町民も知ることができる。 ・ 三朝町の学校給食をお弁当にして販売 (利点)：三朝町の給食の美味しさが広まる。 →具体的に・・・起業する人への支援をする ・ 三朝のもので作られた商品を自動販売機で購入できるようにする。 (利点)：販売機を見る口三朝を知る →例：神倉大豆のどら焼き ・ 三朝そいびーワールド（大豆のパーク） (利点)：大豆について楽しく学ぶことができる。 →大豆の加工食品、近代的な food、新商品を見ることができ、大豆について詳しく知ることができる 	<p>仕事場を増やす支援として、町内で新たにお店を開店したい等の場合の支援を行っています。また、仕事はあるものの、人材が不足している現状がありますので、情報発信の強化について商工会へ提案します。</p> <p>三朝町の資源を活かしたイベントで観光客の誘客を図る取組は観光協会が行っています。新しいイベント（特に観光客が少ない時期）について、観光協会へ提案します。</p> <p>大きな公園等の整備の提案については、関係課と調整して、検討を進めます。</p> <p>町で給食メニューの弁当を販売することは難しいですが、学校給食弁当の販売を行う方があれば、給食レシピをシェフに提供することは可能なので、弁当屋を開業する方があれば支援します。</p> <p>ポスター掲示を含めて、様々な方法で、住民の皆さんへのお知らせに努めます。</p>

H 地域の魅力発信（若杉山）

解決策	検討状況、対応方針等
<p>テーマ：若杉山に人を呼び込む作戦</p> <ul style="list-style-type: none">・若杉山での歩きながら楽しめるイベントを行う （スタンプラリーやクイズなど）・投入堂のような人の目を釘付けにさせるポスターをつくる・若杉山専用のマップをおく・YouTubeなどで気軽に見れる動画を作る・若杉山ならではの特産品を作って売り出す・キャラクターを作る	<p>実効力のあるアイデアをいただき、今後の参考にさせていただきます。 過去には若杉山においてトレッキングのイベントや地域の食材を使った料理が楽しめる竹田御膳楽しむ会が開催されていた経過もありますので、地域の魅力発信に向けて検討していきます。</p> <p>また、情報発信については、現在インターネット、SNS等環境については充実していますので、どう発信すれば魅力を引き出せるのか、どう感じてもらえれば行ってみたくなるのか考えていきたいと思っております。</p>